

# まどか

令和4年  
4月号

No. 400



〒863-0049 社会福祉法人 北斗会  
障害者支援施設 星光園  
熊本県天草市北原町8番37号

TEL 0969-23-3503  
FAX 0969-22-3962  
<https://k-hokuto.jp/>  
e-mail: [hokuto@ruby.ocn.ne.jp](mailto:hokuto@ruby.ocn.ne.jp)  
<https://www.facebook.com/hokutokaiseikouen>



星光園地域支援センター  
熊本県天草市北原町9番32号

TEL・FAX 0969-22-1117

MADOKA



## ひな祭り

三月三日の桃の節句。  
女子の健やかな成長と健  
康を願うひな祭り。  
今年は青空ルームに雛壇  
を飾り、お雛様、お内裏  
様と写真を撮りました。



・運営の基本方針

社会福祉法人北斗会の基本理念

福祉とは生活権の問題である

全人格と全人権を常に考えよ

処して止まらず 取りてむさぼらず

自己の職業に奉仕する事に徹しよう

この精神を基本方針とする。

・総合的サービス目標

- ①個人の意思を尊重した支援の提供
  - ②相談支援事業の拡充
  - ③職員のスキルアップの取組み
  - ④すこしやすさ・働きやすさの充実
  - ⑤利用者・職員の健康の確保
  - ⑥施設機能を生かした地域への貢献
- ・各種サービス目標

一、個別支援計画の充実

サービス管理室を中心に、利用者個々のサービス管理を行う。また、三ヶ月ごとの検討会を行い、利用者ニーズの把握に努め定期的な個別支援計画の見直しを行う。

二、相談支援事業の拡充

天草市の委託事業『天草北地域障がい相談

支援センター「ぼらりす」では二十四時間体制にて天草北部地域の障がい相談支援の中核としての役割を担う。また『特定相談支援事業所 ほほえみ』も引き続き計画相談を中心に実施する。相談支援専門員はジェンダーバランスに配慮するとともに、昨年育成に至らなかつた新たな相談支援専門員の増員を目指す。

三、委員会による各種行事の実施

今年度も感染状況を見極めながら可能な限り各種行事を開催し、コロナ禍においても利用者の意向を尊重した事業・イベント・行事を行う。その際は小グループ・少人数での活動を基本とし、健康・衛生面の安全が確保されるまでは大人数での活動は控えることとする。

四、権利擁護の遵守と

権利侵害・虐待防止法への理解促進  
障害者虐待防止研修は虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会や研修・改善委員会主導のもと年一回以上の内部研修を開催する。外部研修についてはこれまで受けていない職員が参加、その際の伝達研修も開催し障害者の虐待防止・権利擁護の再確認を行う。また定期的に身障協の虐待防止に係るセルフチェックを行い、職員の日々の行動の振り返りとする。

五、職員の質の向上への努力

(各種研修会の実施と参加)  
全社協、県社協、経営協、各行政機関等が行う各種研修会(オンラインを含む)へ積極的に参加する。施設内研修としては研修・改善委員会を中心に、身障協が作成した『個別支援の

実現に向けたケアガイドライン令和新版』を使用した研修を行う。また、身障協独自の認定システム(QOS)の導入を目指す。

六、業務の効率化・安全性の向上のための

福祉用具の活用  
タブレットや記録システム、介助リフト等必要な福祉機器についても介護現場の状況を鑑み導入可能な限り導入する。

七、働き方に合わせた労務管理

働き方改革関連法に基づき、時間外労働、年次休暇、同一労働同一賃金など確実に実施できるよう規程等の順守を促す。また、就労者の希望に合わせた労働時間に配慮し、それに合わせた賃金体系の見直しを行う。

八、利用者・職員の健康の確保

新型コロナウイルス感染症を含む感染症防止対策を徹底する。基本的な感染症対策を基本とし、産業医や嘱託医からの指導・助言のもと、地域の状況に合わせた感染症対策を行う。また、可能な限り早期のワクチン接種を利用者・職員に実施する。その際には、これまでのワクチン接種における副反応等を考慮し利用者・職員の接種の同意も確認する。

職員に関しては労働災害防止のためメンタルヘルス・腰痛防止策を講ずる。またセクハラ・パワハラ・モラハラ防止、定期的に『障害者虐待防止の手引きチェックリスト』によるチェックを実施し、安全衛生委員会による課題の解決・改善につなげる。

九、安心・安全のための施設づくり  
 災害に的確に対応すべく、定期的な防災訓練を実施。訓練の際には地域消防署や消防団との連携をはかる。また法人内各施設間で防災連携の確認を行い、施設が被災しても他施設が援助できる体制をとる。その他、天草市の福祉避難所として地域防災の一助となる。災害対応や感染症対応のBCP(事業継続計画)を作成し、それに則った非常時の対応を行う。車両の運転を行う職員には安全運転管理者選任事業所であることの自覚を促し、安全運転の指導・注意喚起と運転前のアルコールチェックによる運転可否の判断を行う。

十、福祉に対する理解の促進

実習・ボランティアなど学校教育への協力を積極的に受入れ、地域住民の福祉に対する理解を促進し福祉文化の醸成に取り組む。尚、受け入れに際しては基本的な感染症対策の徹底を前提とする。

十一、法人創設五十五周年記念事業への協力  
 創立記念事業実行委員会のもと、記念式典の準備・運営に協力する。



## 冬季ボウリング大会



ボウリング大会が始まると、「ストライク!」「ざんね〜ん」の音が響き賑やかな時間が始まります。



- 一位 蓮田ゆかり 様
  - 二位 宮下 智明 様
  - 三位 宮下 聡明 様
- おめでとございました。☞

## おかげさまで四〇〇号

施設長 金澤武典

星光園広報機関誌月刊『まどか』は本号で創刊四〇〇号の発刊を迎えることができました。

これもひとえにご寄稿いただく利用者の皆様、歴代広報委員である利用者・職員、そして読んでいただく保護者・関係各位のおかげと改めて感謝申し上げます。

顧みまずと第一号が創刊されたのが昭和五十四年四月、今から四十三年前となります。当時はB五版の一面のみの紙面でガリ版印刷。ヤスリ版の上で原紙に鉄筆で文章を書き、それを元に謄写版でローラーを使い藁半紙に複写していくスタイルでした。

内容も当時の園長挨拶、年度の行事計画のみという簡素なものでしたが、手書きならではの味があります。その後、ワープロと輪転機の導入により原稿書きは手軽になり、印刷枚数は飛躍的に増えました。

平成八年十二月発行の百号の頃にはパソコンの導入が進み、平成十七年四月の二百号の頃はカラー印刷が定番となりました。輪転機の印刷に比べ大変見やすい紙面となりました。

現在では利用者の皆さんからの寄稿もデータによるもので、時代の流れを強く感じます。令和二年二月からはリニューアルされた北斗会ホームページ上にも公開され、パソコンやスマホからも簡単にご覧いただくことができます。

時代が変わり道具や媒体が変わっても、施設における出来事や予定、利用者の声を発信していくという『まどか』の役目は今後も変わることはありません。引き続き星光園機関誌として発行してまいりますので、末永くおつきあいいただければ幸いです。第一号から節目となる一〇〇号ごとの表紙を掲載いたしますのでご覧下さい。



## 「激論」

気がつけば、今月号で「まどか」は、四〇〇号になります。それが長いのか、短いのか分かりませんが、一年間で十二号ずつですから、四〇〇÷十二で三十三年と四カ月になります。

一人の人間が生まれて、大人になる期間続いていると思えば、長く感じます。平成元年とか平成二年ごろから「まどか」は始まったんですね。

実は、四〇〇号になると教えてくれたのはIKKE「改め「イッケー」さんでした。

イッケーさんと言えば、先々月号でちょっとふれた「激論」のことです。

激論といっても、朝まで討論したわけではなく、イッケーさんの休み時間に二〜三分話ただけです。

世界では、コロナウイルス、ロシアの暴走などで大変ですが、こんな時にと言うか、こんな時だからこそかもしれないませんが、北朝鮮の弾道ミサイルの発射実験です。

イッケーさんとの激論は、このことです。

弾道ミサイルは、発射されて一回、大気圏の上（もう宇宙です）に出て、それからまた落下してきます。その時、大気圏を落下し、熱にミサイルが耐えられるかが難しいそうです。多分、一回の発射に何百億円かかかり、ミサイルの重さも何百トンかあると思います。

そんな巨大なものが、はるか上空から落ちてきますから、その衝撃はものすごいと思います。その衝撃のことをイッケーさんと討論しました。私などは北朝鮮が、ミサイル発射というニュースを聞いても「こんなときに北朝鮮は何してんだ」ぐらいにしか思いませんでしたが、イッケーさんは違う考えで、私もその考えに納得しました。

その衝撃内容は…。  
ちよつと長くなりそうなので、次号の「まどか」四〇一号に書きます。

おしまい。  
『つま先で立っている者は、  
長く立っていられない。』

大股で歩く者は、遠くまで行くことはできない。』  
(無理をせず、先頭を歩く)

老子

老子



### ★クイズ★

問一、桃の花は、今頃咲くので桃の節句ですが、なぜ女の子の節句でもあるのでしょうか？

問二、せつく【節供・節句】とは、何でしょう？

問三、そもそも「ふようふきゆう」は、どう書くでしょう？

問四、そもそも「ふしよくふ」は、どう書くでしょう？

問五、日本語の、そつぎよう【卒業】を英語で言うと、何でしょう？



問六、【内裏様】は、何と読むでしょう？

問七、英語の「good bye」《別れのあいさつ》さようなら、ごきげんようの語源は、何でしょう？



問八、次のうち、水に沈むものは、どれでしょう？

- ①メロン
- ②マンゴー
- ③芽キャベツ

問九、次のうち磁石に、くつつくのは、どちらでしょう？

- ①紙やすり
- ②千円札

問十、ウクライナの国旗の色は、青色と黄色ですが、これは何を表しているでしょう？



問十一、【Kijev】の読みは何で、何のことでしょう？

# 実習生との交流

三月十四日～二十五日まで尚絅短期大学より一名の方が実習に来られました。

期間中は食事介助や余暇活動、ボッチャ、オセロゲーム等で利用者様と交流されました。実習最終日には、各棟で紙芝居の読み聞かせを披露されました。

コロナ禍で、利用者様も他者と交流する機会が減っていたので、とても楽しいひと時を過ごされました。



## 余暇活動 ボッチャ



「ボッチャ」  
ヨーロッパで生まれたスポーツって知ってましたか？  
重度脳性麻痺者もしくは、同程度の四肢重度機能障がい者のために提案されたスポーツです!!  
パラリンピックの正式種目になっていますよ。



狙いを定めて...

「当たれ～」  
「あーあー  
行き過ぎた」など、  
楽しそうに会話も弾  
んでいました。



# 壁面作り

お花紙を桜に見立てて壁面作りを行いました。ふんわりと優しく丸めたり、つぼみはギュッと強く丸めたり、それぞれ工夫をして可愛い桜の壁面が完成しました。



「いっぱい作ったね～」

1棟 訓練室前



2棟 デイルーム



2棟 壁面

# ひなたぼっこ



「花は霧島～  
煙草は国分～  
燃えて上るは  
オハラサー桜島～」  
田中久子さんの歌と踊りが始まり、楽しい時間を過ごしました。

短歌・俳句に興味はありませんか？  
一緒にコーナーを盛り上げてくれる方  
お待ちしております。

ランドセル重くないか カタカタと

軒下で喧しかり つばめの子  
いつの頃よりか 喧噪きかれず  
次々に甥や姪の子ら 結婚し  
家族増えて 喜ばしける

ほほえみコーナー



義忠

洋子



- 一日 辞令交付式
- 四日 お花見・散歩
- 七日 環境整備
- 八日 北斗会五十周年食事会
- 十一日 施設長・事務長会議
- 十四日 サービス管理責任者等会議
- 十八日 ワックス掛け（居室替え）
- 二十二日 運営委員会
- 二十五日 職員研修会
- 二十九日 昭和の日

新型コロナウイルスへの  
対応について

面会や外泊など最新の対応状況は北斗会ホームページ、又は星光園フェイスブックでご確認ください。

皆様にはご迷惑をおかけしますが、感染予防のための措置ですのでご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

尚、LINEのビデオ通話によるオンライン（テレビ電話）面会は常時受付可能です。詳細については星光園までお問合せください。



通話には、画面のQRコードを読み取り、星光園まで登録下さい。



プロ野球が開幕しました。多くのファンの応援している姿がテレビに映し出され、以前の日常生活が戻ってきたような少し嬉しい気持ちで応援をしました。天気の良い日には散歩に出かけリフレッシュしたいと思います。  
係では利用者や保護者の皆様からの投稿も募集中です。お気軽に事務所までご連絡ください。

★クイズの答え★

- 一、「桃」という漢字は、「木十兆」兆は、兆し（きざし）とも読みます。草木が芽生えると言う意味で、それが新しい命が芽生えるということ、女の子の節句になった。
- 二、人日（じんじつ）一月七日・上巳（じょうし）三月三日・端午（たんご）五月五日・七夕（たなばた）七月七日・重陽（ちようよう）九月九日などの式日をいう。祝いの行事があり、特別の食物を食べる風習があった。節日（せちにち）。せちにち【節日】とも言って、季節の変わり目など、祝いを行う日。元旦・白馬（あおうま）・踏歌・端午・相撲・重陽・豊明（とよのあかり）などの行事のある日。せつじつ。
- 三、【不要不急】緊急の必要がないこと。いらないこと。不用。



四、不織布

- 五、graduation「グラデュエーション」、graduate「グラデュエイト」
- 六、だいらさま
- 七、語源 God be with you [yey]. の短縮形（神の御加護を。新しい出会いあれということでしょうか）goodの形はGOOD NIGHTなどの類推。
- 八、②マンゴー
- 九、②千円札（磁気を帯びたインクで印刷されているそうです）
- 十、青い空の「青」と、小麦が実った時の「黄色」です。



でも今は、空も、小麦畑も灰色かもしれませんが、  
十一、キエフ（ロシア語呼称キエフ）ウクライナの首都。ドニエプル川の中流域にある大都市。八世紀ごろからビザンツとの貿易で栄え、九世紀末、キエフ公国の首都となる。一二四〇年モンゴルに侵入され、のちポーランドの領有を経て、一六八六年ロシア帝国に併合。一九世紀末にはロシア革命運動の中心となった。現在は、ウクライナの機械工業および交通の中心。姉妹都市は、日本の京都。

※【姉妹都市】国際的な文化交流や親善を目的に、特別に親密な関係を結んだ都市と都市。